

カーリング



カーリングルール

「氷上のチェス」に例えられ、戦略や駆け引きが見どころとなる。チーム対戦式で、ストーンと呼ばれる上部に取っ手が付いた円形の石を約40メートル先の的（ハウス）に相手チームと交互に投げ合い、中心近くに残ったストーンの数で得点を競う。

リンクは長さ45.72メートル、幅4.75メートルのシートと呼ばれる長方形で仕切られ、ハウスは半径1.83メートルの円形。ストーンは重さ約20キロ、直径約30センチで、英スコットランド産の花こう岩で作られている。投げられたストーンの滑りを調節するため、氷上を掃くブルーム（ブラシ）も使われる。

男子女子は補欠を含め1チーム5人。試合には4人が出場し、投げる順にリード、セカンド、サード、スキップと呼ばれ、それぞれの役割も決まっている。

エンドごとにストーンをハウスの中心に近く残したチームが勝ちで、ストーンの数だけ得点となる。相手のストーンを弾いてハウス外に出すことが可能なため、後攻が有利。勝ったチームは次のエンドでは先攻となる。

これが、大まかなルールです。

選手の言葉

「本当にどっちが勝つか分からないシーソーゲーム」

この言葉からは、試合で相手と接戦だったことがわかります。

有利になることもあるし、不利になることもあったのは、どちらも最後まで力を出し続けたからだと思います。

自分の考え

- ・相手が強くても立ち向かう心を持ちたいです！
- ・カーリングのことをもっと知って、実際にやってみたいですよ！

S・A